

創造・参加・実践  
No.708

最新のJR西労組運動をチェックしよう!  
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!  
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合  
〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号  
西 阪 急 ビ ル 9 階  
TEL06-6375-9869(代) JR071-7155(代)  
(FAX) 06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成  
編集責任者 田中 佑佳

安全・安定輸送に日夜奮闘している組合員と家族のためにも、みんなで力を合わせて難局を乗り越えよう!!

# 今こそ会社を支える

# 「人財への投資」を!

## 期末手当(年末)の 回答について申入書を提出

【上村闘争委員長】  
申し入れについての見解

中央闘争委員会は、2022春闘の回答において昨年に続き年末手当の回答がされなかったことから、本日、JR西労組申第7号「期末手当(年末)の回答について」を会社に提出した。



コロナ禍の2年半、組合員は愚直に業務を遂行し、会社存続のため、経営の強靱化をはじめ様々なコスト削減や施策に協力してきた。ボーナス減や将来への不安が高まり、離職に歯止めがからず、系統によっては深刻な人材不足に陥っており、早急な対応が必要である。今こそ、「人財への投資」をする会社であることを示す重要な局面にある。

## ■JR西労組申第7号「期末手当(年末)の回答について」

1. JR西日本グループの経営状況と今後の見通しについて明らかにされたい。
2. 人財への投資に対する会社の考えを明らかにされたい。
3. 期末手当(年末)について、組合員の生活を守るため、誠意ある回答をされたい。

## 組合員が明るい希望を描けるよう中央闘争委員会は全力で闘う!

### 第1回拡大安全対策委員会

中央本部は、10月4日(火)北梅田研修センター会議室において「第1回拡大安全対策委員会」を開催した。各地本総支部各支部に加え、グループ労組など52名が出席し、安全確立に向けた取り組みについて、意思統一を図るとともに、様々な課題について熱い議論を行った。

冒頭、中央本部を代表して上村委員長は最終年度となつた安全考動計画と、次期安全計画(9月にJR東海で発生した死亡労災、そして重大労災ゼロに向けたグループ全体での安全問題について挨拶を行った。

議事では田中伸樹安全対策部長から、待避不良労働災害等の発生状況について、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」検証アンケート、JR西日本連合

「安全職場実態アンケート」の実施状況について報告があり、安全確立の取り組みとして安全お守り手帳の活用、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022の完遂と次期の検証活動を中心とする課題提起、「すべてのJR関係労働者の死亡事故重大労災ゼロ」の完遂、グループ会社、協力会社との連携、事故を決して忘れない、取り組みなどについて提起がなされた。



その後、各グループ労組からは重大労災防止に向けた取り組み、今夏の熱中症対策、離職による技術継承の課題やJRや協力会社との連携における課題など、次期「計画」に対する要望を含め、現状の課題を共有し、幅広い議論を交わした。

今後も「安全お守り手帳」の理解や浸透を図るとともに、JR西日本連合全体で更なる安全性向上に向けた取り組みを進めていくこととする。

### 第1回業務部長会議

中央本部は、10月4日(火)北梅田研修センター会議室において「第1回業務部長会議」を開催した。各支部、各地本総支部の業務部長、業務総括など42名が出席し、今後の業務課題に対して意思統一を図るとともに、様々な課題について熱い議論を行った。

冒頭、中央本部を代表して上村委員長は来年開業を控える、うめきた新駅や広島駅周辺の開発プロジェクト、北陸新幹線の新大阪延伸等、未来に向けて希望をもてる話にも触れ、諸課題交渉での運動適性検査の前進など回答を引き出したことについて挨拶を行った。

議事では川原業務部長から、JR西労組第34回定期中央本部大会で出された業務関係質疑、「2022年度総労協協約改訂」の取り組みと「育児介護休業法改



訂における現場組合員の声、今年度施策である電気部門における工事業務のデジタル化、冬季賞与についての意見が寄せられた。

組織改正については、統括本部の発足直後であり、今後様々な課題が出てくることから注視していく必要があることを全体で確認した。

この会議で出された組合員の声を労使でこれまで以上に議論を重ね、安全を基礎に、組合員の雇用と生活を守り、誇りと働きがいのあるJR西日本を構築していく。

### 第1回ワーキングインベーション委員会

中央本部は、10月3日(月)北梅田研修センター会議室において「第1回ワーキングインベーション委員会」を開催し、各地本総支部の書記長、担当部長、各支部会など約35名が集まった。

冒頭、上村委員長は挨拶の中で現在増えている離職や中途採用者の今後のキャリア



ステップ、定年延長などについて課題提起を行い、私たちの働き方は自分たちで考えて行く決意を述べた。

議事では、主に、大きな成果を得た2022年労働協約改訂交渉の内容の説明、他、地上職の待遇改善について女性活躍に関する行動指針について、賃金昇進制度や減らすために、いかに働き甲斐を向上させるかをテーマにグループディスカッションを行った。意見として、決して賃